



壁を連続化する。

「内側」と「外側」、「へや」と「こま」を連続的に繋ぐことは出来ないと考えた。

壁一枚だけでは空間を作る。壁の端と壁の端を繋ぐことで繋いでいくことで空間を作る。
そして壁の上部を折り曲げ、それまで内側のような感じにいた場所が外側になり内側のように感じている場所が内側になる。

それにより、内側と外側、へやとへや、へやとこまなど区別することの出来ない複雑な空間が出来た。

それは明確な区別を消した人が発見できる領域となる。



高度自由にはキッチン、リビング、寝室、そして外側も内側も分けられないような区別はない。

例えばキッチンで食事していると、隣室でお酒を飲む人が、突然おしゃべり出してお酒を飲むので、少しの時間を空費してしまったりとそれ以外で料理をすることもあればあるし、壁のすぐそばまで通することも出来る。

高度自由がそのように決められていないなら、その決められたままを区別で外れないかと考えた。

区別があることにより生まれる内側と外側と外側と外側をもう一度フットン状態で区別して見ると、人と行儀と場所とが、空間によって決定されず、全体が一つの場として連続に繋がっている。

